

大泉学園

学ぶこと

学園長 角野 知彦

一気に冬の気配が近づいたような朝晩の冷え込みになりました。

10月28日の文化発表会舞台の部では、英語弁論・暗唱、いいとこみせますコンサート入賞者の発表、各学年による合唱、ギター部の演奏、生徒会制作の動画など盛り沢山のものがありました。9年生の英語のスピーチやいいとこみせますコンサート入賞者の発表は、憧れるほどのすばらしい内容で会場が魅了されました。1年生から9年生までの合唱は、これまで練習してきた成果を十分に発揮し、最高の力を出しきった歌声に保護者席からも大きな拍手をいただきました。ギター部の発表は、9年生が最後の出番となり、心に残る演奏となりました。生徒会制作の動画は、期待通りの楽しく面白い内容のある作品で大いに盛り上がりました。

翌29日土曜日には、展示の部の発表と学習参観がありました。展示の部では、創作活動部の作品、美術科の授業作品、全年の図画、各教科によるノート・レポート、夏休みの研究レポート・作品、調べ学習やナイスノート展示など、これまでの努力の跡が感じられるものばかりでした。大泉学園の伝統が継承され、感動的で記憶に残る文化発表会となりました。

学習参観では、全学年による道徳の授業や日ごろから実践しているユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践で、



「夢にむかって自分らしく輝く子」

自主（進んでやりぬこと）

創造（つくりだそう）

信愛（思いやりの心をもとう）

いきいきとした子どもたちの姿をご覧いただけたかと思えます。ご多用中にもかかわらず、「ご来校いただいた保護者のみなさま、地域のみなさま、ありがとうございます。」

11月1日から7日までは、教育・文化週間です。期間中は、全国各地で美術館や博物館の無料開放やイベントが開催されます。この期間を活かして大いに学ぶ喜びを味わいたいものです。

学ぶことの大切さについては、幕末明治の偉人福澤諭吉が著書『学問のすすめ』で述べています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」との冒頭の言葉は、有名ですが、後の文章では「人の世は平等ではない」とも述べています。「人は生まれれた時は平等である」ということで、「われらは、同じ人であるのに、仕事や身分に違いが出るのはどうしてだろうか。同じであるのに違うのならば、違う部分があるのであり、その違う部分というものが、学ぶと学ばないとあるのである。人の違いは、生まれつきにあるのではなく、学問に励んだのか、学問に励まなかったのかにあるのだ。」ということが書かれています。9年生は今月には、進路懇談も予定されています。いよいよ進路を決定する時期が近づいてきました。大切な時間を有効に活用して、しっかりと学びたいものです。学校は学び舎です。知識だけでなく人間性や社会性も大いに学び、自分の進路、人生の選択が自己実現につながるようにしたいものです。

グリーンスクールプログラム 〜グリーンBOXの設置〜

大泉学園では、昨年度より安心・安全なグリーンスクールをめざし、さまざまな取組をすすめています。昨年度は、生徒会長による「大泉グリーンスクール宣言」、「読み物資料を活用したグリーンスクールの授業」を行い、グリーンな行動にするためにはどうすればよいかを考えさせるようにしてきました。

今年度の9月には、学園の生活目標を「グリーンな行動をしよう」に設定し、児童生徒が今まで以上にグリーンな行動を意識するような取組を考えました。

児童生徒同士がグリーンな行動を見つけあい、グリーン用紙にグリーンな行動をしてきた人の名前、グリーンな行動内容、グリーンな行動を見つけた人の名前を記入し、各階に設置しているグリーンBOXに入れるという取組です。約一か月間実施し、166枚のグリーン用紙が集まりました。「トイレのスリッパを並べていた」「ろうかを走っている人に注意していた」「掃除当番じゃないのに掃除を手伝ってくれた」「終礼の時にいつも名札を集めてくれた」など、いろいろなグリーンな行動がありました。また、同学年だけではなく、学年が違う児童生徒のことも書いてあったり、先生のことを書いている児童もいました。

このような取組を行うことで、児童生徒がグリーンな行動を意識し、グリーンな行動が増えたことに加えて、人の良い所を見ようとする児童生徒も増えたことがよかったと感じています。今後ますますな活動を通して、グリーンな行動が学園全体に広がるようにしていきたいと思っています。

第66回堺市立小学校連合運動会（6年）

50mハードル走	第1位
100m走	第1位
走り幅とび	第2位
400mリレー	第3位

第37回文化発表会（10月27日） 大泉文化大賞（9年）

- 優秀賞 「手紙」 拝啓十五の君へ」
- 3年 「鳥になる」
- 4・5年 「地球星歌」
- 7年 「花は咲く」

堺市中学生 英語弁論大会

9年
"What should we do?"
(わたしたちは何をすべきだろう)

創作活動部 「よく見よう郷土展」

「イメージ画」賞
8年

後期児童会生徒会発足

会長	6年
書記	6年
副会長	5年
書記	5年
書記	4年
書記	5年
書記	4年

後期生徒会執行部役員

会長	8年
副会長	8年
執行委員	8年
執行委員	7年